

12家族30人が白石の魅力を満喫！

～田舎暮らし体験ツアーを開催～



▲蔵本水稻共業組合・半沢洋一さんから田植えの説明を受ける参加者の皆さん

▲1日目、小雨の降る中で行われた田植え体験



▲まだ道のりは遠いです…



▲おっと！水を張った田に足を取られる子どもたち



▲風間市長も田植えに挑戦！



▲真剣さの中にも楽しさがいっぱいでした！



▲その苗私にも分けて！



5月13日～14日の2日間、市外在住の皆さんに白石市の豊かな自然環境や地場産業などの魅力を知っていただくとともに、交流・定住人口の拡大を図ろうと田舎暮らし体験ツアーが開催されました。ツアーには、姉妹都市の神奈川県海老名市のほか、仙台市や大崎市などから12家族30人が参加。田植えやこけしの絵付け、バター作り体験など、白石の魅力を存分に満喫しました。

▲田植えを無事終えて、全員で「万歳！」の記念撮影

この体験ツアーは、市外在住の皆さんに農作業体験やこけしの絵付け、バター作りなど、雄大な自然がもたらす豊かな水がはぐくんだ白石市ならではの田舎暮らしを体験していただき、その魅力に触れてもらうことで、交流・定住人口の拡大につなげようと、市内の農業団体や観光協会関係者などで行く「白石市田舎暮らし体験ツアー実行委員会」の皆さんが企画・主催したものです。

1日目（13日）には、風間市長も参加して福岡蔵本の上原地区に用意された10アールの水田で田植え体験が行われました。参加者のほとんどが田植えは初めてとあって、水を張った田に足を取られ、悪戦苦闘しましたが、無事に苗を



▲農作業の合間に、参加者を和ませた葛西かのんちゃん。

植え終わり、その後は宿泊先の鎌先温泉でゆっくりと湯船につかり、一日の疲れを癒しました。翌日、一行はこけし村を訪れ、こけしの絵付けを体験。それぞれが思い描く、世界に一つだけのこけしを丁寧に仕上げていきました。

2日間にわたって白石の魅力を感じた参加者の皆さんに今回の体験ツアーの感想について尋ねると、ほとんどの方から「参加してとても良かったです」「とても楽しい経験でした」との声をいただきました。

この体験ツアーは10月にも同じメンバーで行われる予定で、今回田植えを行った田での稲刈りのほか、碧水園や小原地区の材木岩公園などを見学する予定になっています。

参加者の皆さんは、苗がすぐくと生長することを祈るとともに、収穫の秋を今から楽しみにしていました。